

のぎわっ子

平成30年度
学校だより
磐田市立東部小学校
平成31年1月17日

3学期始業式

挑戦するとは、やってみること

校長 中村 忠裕

冬休みが終わって、また皆さんの元気な姿を見ることができて、大変うれしく思います。

さて、2学期の終業式で、東部小みんなの通信票を紹介し、「3学期は、東部小みんなで、『話を聴いたり、発表したりする力』、『KTAの力』、『めあてをもって運動する力』をもっともっと良くすることに挑戦しましょう。」と、お話をしました。



では、「挑戦する」とは、どんなことでしょうか。

昨年の12月12日にバンクーバーパラリンピックのアイススレッジホッケーで銀メダルをとった上原大祐さん（写真左）が東部小に来て、5、6年生のみなさんにお話をしてくださいました。

生まれつき足が不自由で運動に苦手意識のあった上原さんでしたが、大学時代にアイススレッジホッケーと出会ってからは、夢中で練習したそうです。上原さんは、

5、6年生のみなさんに「初めからできないと決めつけず、やってみることが大事。失敗してもいい。」とお話をしてくださいました。

お話を聞いた6年生の女の子は、上原さんへのお礼の手紙の中で、「失敗は、嫌いです。でも、できたり、成功したりするには、何度も失敗を繰り返したからだと気づきました。」と自分の思いや気づきを書きました。

校長先生は、「挑戦する」とは、上原さんの言うように「まず、やってみること」だと思います。

初めてやることは、「失敗したらどうしよう。」「できないかもしれない。」という気持ちが出てきます。その気持ちもよく分かります。

でも、やってみなければ、成功も失敗ありません。やってみることで、みなさんは成長するのです。

3学期は、51日しかありません。東部小のみなさんが、「なりたい自分」に向かって「挑戦」してほしいと願っています。先生方も挑戦します。そして、『話を聴いたり、発表したりする力』、『KTAの力』、『めあてをもって運動する力』をもっともっと良くしましょう。



上原さんと一緒に、車椅子バスケットを体験しました。